

日本死の臨床研究会中部支部主催

第46回年次大会プレ企画

Web講演会

日本死の臨床研究会は「死の臨床において患者や家族に対する真の援助の道を全人的立場より研究していくこと」を目的として1977年に設立されました。医療だけでなく、様々な分野から集い、誰にも平等に訪れる「死」と「死にまつわる問題」に正面から取り組み、すべての人が人生の最期の時まで希望する生き方を実現できるよう、死をめぐる援助の在り方を追求してきました。

第46回日本死の臨床研究会年次大会が2022年11月に三重県津市で開催予定となっておりますが、まだまだ十分見通せない状況にあります。新型コロナウイルス感染症の出現という未曾有の体験は、日々の生活を激変させ人間関係を分断し孤立・孤独をもたらし、社会的な苦悩や困難をより深く複雑にしていることをかんがみ、第46回年次大会のテーマ・キーワードの「つながり」に焦点をあてた講演会を企画しました。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、ご視聴賜りますようお願いいたします。

日時：2021年9月5日（日）10：30～12：00

方式：Web講演会（zoomウェビナー開催；事前登録）

※詳細は裏面をご確認ください。

参加費：2,000円

（日本死の臨床研究会中部支部会員 1,000円）

◆プログラム◆

10：30～10：35 開会の挨拶

10：35～10：50 第46回死の臨床研究会年次大会開催準備のご報告

中部支部長 松原 貴子（三重大学医学部附属病院緩和ケアセンター）

第46回年次大会テーマ「いのちをつなぐ～そのときをどう生きる？ どう支える？～」を紹介し、大会趣意・現在の準備状況を報告します。

11：00～11：55 講演 「社会的苦痛の緩和ケアと社会的処方」

座長：辻川 真弓 先生（三重大学大学院医学系研究科看護学専攻）

講師：西 智弘 先生（川崎市立井田病院緩和ケア内科/一般社団法人プラスケア理事）

つながり～「枠を超えてゆるくつながる」をコンセプトとして、地域が「病気になっても安心して暮らせるまち」になることを目指した活動を展開している西先生に講演をお願いしました。イギリスではじまった「社会的処方」は、身体やこころを病んだ患者に、家庭医が薬を処方するだけでなく、その人に合った地域交流を紹介する取り組みです。日本での先駆的な取り組みを紹介していただきます。

11：55～12：00 閉会の挨拶



講演会参加はこちら！

← 左記QRコードより事前登録をお願いします（〆切8月31日）
裏面の案内をご確認ください。

問い合わせ先：三重大学医学部附属病院 緩和ケアセンター
TEL：059-231-5764 E-mail：kanwa@med.mie-u.ac.jp

日本死の臨床研究会中部支部 第26回研究集会 Web講演会 事前登録方法

【参加登録方法】 事前登録〆切 8月31日（火）

1. 下記QRコードより事前登録サイトにアクセスしてください。
2. 事前登録サイトに、お名前、メールアドレス、所属施設・職種、連絡先住所、中部支部会員/非会員区分を入力した後、登録ボタンを押してください。
3. 登録のメールアドレスに、登録完了と参加費支払方法の案内のメールを送付しますのでご確認ください。（手動での承認となりますので、参加登録をされてから多少お時間をいただきます）



【当日の参加方法】

開催3日前までに「当日参加用のURL」を事前登録のメールアドレス宛に送付しますので、記載されたURLよりアクセスしてご参加ください。

- ◆メールが届かない場合は、お手数ですが下記のメールアドレスまでご連絡ください。
kanwa@med.mie-u.ac.jp
- ◆パソコン、スマートフォン、タブレットなどのインターネットに接続できる端末の確保をお願いします。できるだけ安定したネットワークに接続されることをお勧めします。
- ◆あらかじめ、当日使用予定の端末に「ZOOM Cloud Meetings」アプリケーションのインストールが必要です。